

新川とは？

新川は、いわき市内の内郷地区から平地区を流れる
二級河川夏井川の一次支流です。

流域面積は 33.4km²、指定区間延長は 24.7km です。
(夏井川水系河川整備計画 平成 14 年 4 月福島県)

このマップは？

平成 29 年度に福島県環境創造センターでは、
新川流域の地域の方々にご協力いただき、
「新川の水環境に関するワークショップ」を開催しました。
このマップは、参加者の皆さんがワークショップで、
新川流域の魅力などを話し合った結果をまとめたものです。
皆さんが、このマップをとおして、
新川について考えるきっかけになれば幸いです。

マップについて、何かお気づきのことがありましたら、
お気軽にお問い合わせください。

発行：福島県環境創造センター

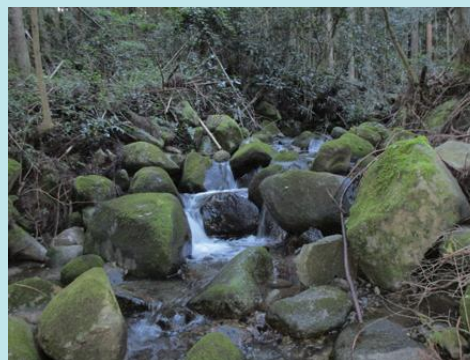
住所：田村郡三春町深作 10 番 2 号

電話：0247-61-6140 FAX：0247-61-6119

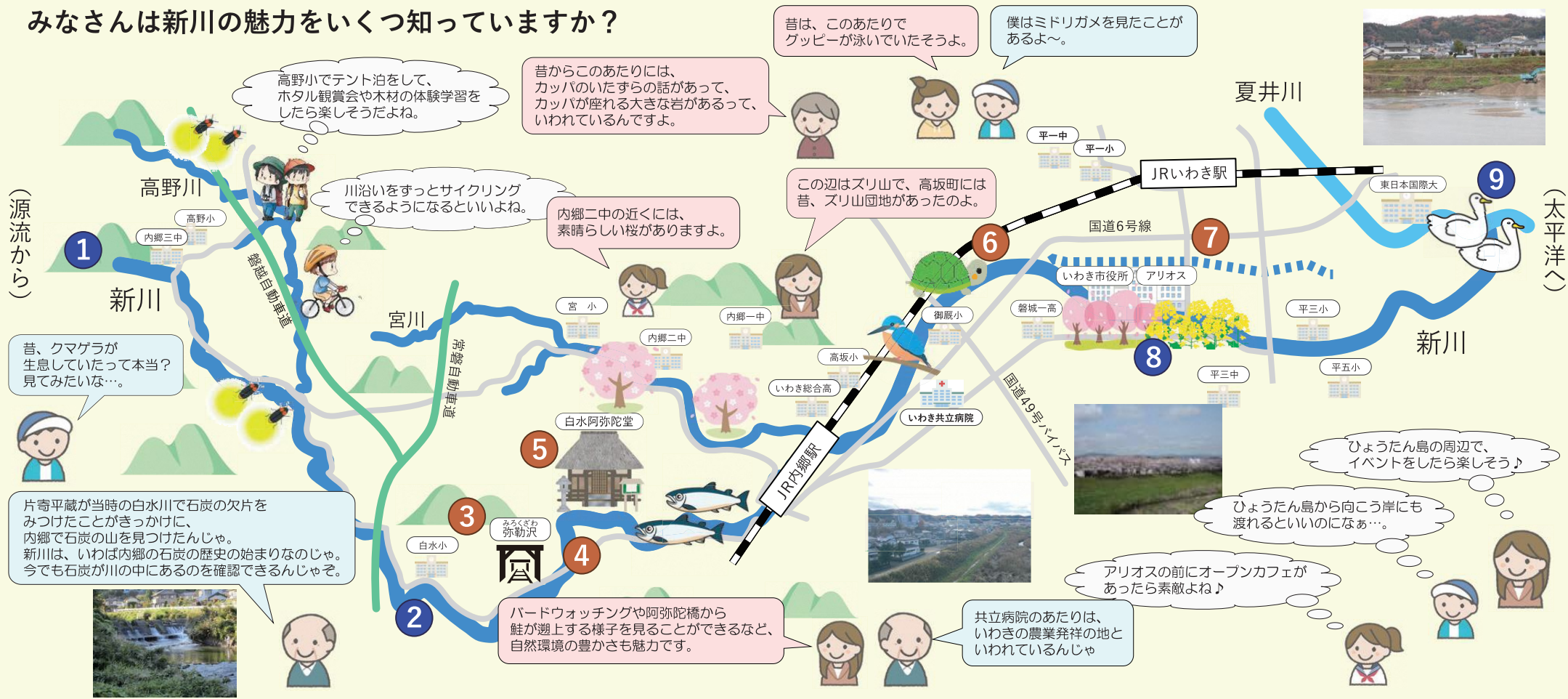
ホームページ：<https://www.fukushima-kankyosozo.jp>

新川の魅力を感じるマップ

～新川の歴史・文化・環境について考えてみませんか？～



みなさんは新川の魅力をいくつか知っていますか？



1 内郷高野地内

内郷高野地区に端を発する新川は、上流では川底がはっきりと見えるほどに綺麗な水が流れています。



2 白水小学校裏

川の中を道が通っている、ちょっと不思議な場所ですが、新川上流域できれいな水と親しめる空間です。



3 ライオン岩

炭鉱時代、全体の形がライオンに似ていたことから、「ライオン岩」と呼ばれているそうです。



4 吊るしの観音

岩間に祭られている、非常に小さくて珍しい観音堂です。別名「ツルカケ観音」とも呼ばれています。



5 白水阿弥陀堂

平安末期に建てられた、国宝建築物にも指定されている世界遺産級の建物です。阿弥陀橋の袂からは、新川に降りることができます。



6 クマミ温泉

石炭採掘の際に生じる温泉水を利用した野天風呂がありました。最初は「御厩温泉」とも呼ばれていたそうです。



7 新川の今と昔

今の新川は昔、白水川や古川と呼ばれていました。当時の新川は、新川緑地公園のところを流れていましたが、今は、地下水路になっています。



8 ひょうたん島周辺

アリオスの裏手には、ひょうたん島という、水辺と親しめる空間があります。春になると、周りでは桜や菜の花が満開となります。



9 夏井川合流地点

夏井川との合流点には、毎年白鳥が飛来し、羽を休める場所となっています。

